

未来へ向けて
美馬市の
まちづくり



住民参画を基本とした「共創」と「協働」のまちづくり ● 行財政運営

わたしたちも無駄遣いは許されなけれど、行政の無駄遣いも大変なことになります。美馬市では「美馬市行財政システム改革基本方針」を定め、無駄のない行財政運営を進めていると聞きました。どんなことに取り組んでいるのでしょうか？

Q 改革基本方針に基づき、具体的にどのような改革が進められているのですか。

A 基本方針の方策実現のために、実施事項、実施時期、目標値などを明らかにし、計画書を策定しています。まずは前



美馬市役所本庁舎前

期実施計画書により、事務事業評価システムを新しく構築し、財政システムの改革を進めているところです。

Q 2つのシステムについて、もっと教えてください。

A 事務事業評価システムとは、美馬市が行う行政活動について、その目標を明らかにし、毎年、成果を評価、公表すること、市民のみなさんの行政に対する満足度を高め、さらに改善を重ねて行くためのシステムです。

財政システムとは、予算編成から執行に至る一連の仕組みのことで、限られた財源をいかに市民のみなさんの合意を得て、有効に配分し執行して行くかが求められています。

そうしたシステムに基づいた具体的な取り組みの例としては、各種の計画策定時の委員には、専門家だけではなく、市民からの公募委員が参加しています。また、人件費や公債費をはじめ、あらゆる経費の抑制を検討し実行しています。そうした中で、民間の力を活用しての業務遂行や施設の管理運営も大いに検討しています。

この庁舎のあり方も、庁舎検討市民委員会で適正かどうか検討しているところ。市民サービスは低下させてはなり



本庁舎内

ませんが、無駄なものほとんど省き、みなさんの税金で賄われる大切な財源を100%活かせる行財政システムでありたいと思っています。

「特派員コメント」

家庭も行政も将来を考えて無駄遣いをしないということは、大切なことだというのを改めて感じました。行政の情報を、広く市民に公開をする。市民は、行政にいつも関心を持ち続ける。そして、できることは協力を惜しまない。そういう体制が、一番の行財政システム改革だと思います。

Column <コラム>

まちづくり市民会議



後藤 忠雄さん

美馬市総合計画を策定するために、「まちづくり市民会議」が開かれ、基盤整備・環境・保健福祉・教育文化・産業の各分野で意見を出し合いました。教育関係での仕事や県の「教育振興基本構想」メンバーとしての経験を生かしたいと、公募により市民会議に参加しました。この会議での話し合いが、将来の美馬市の教育文化に少しでも役に立てばと願っています。